

社会に通用するスキルを学ぼう

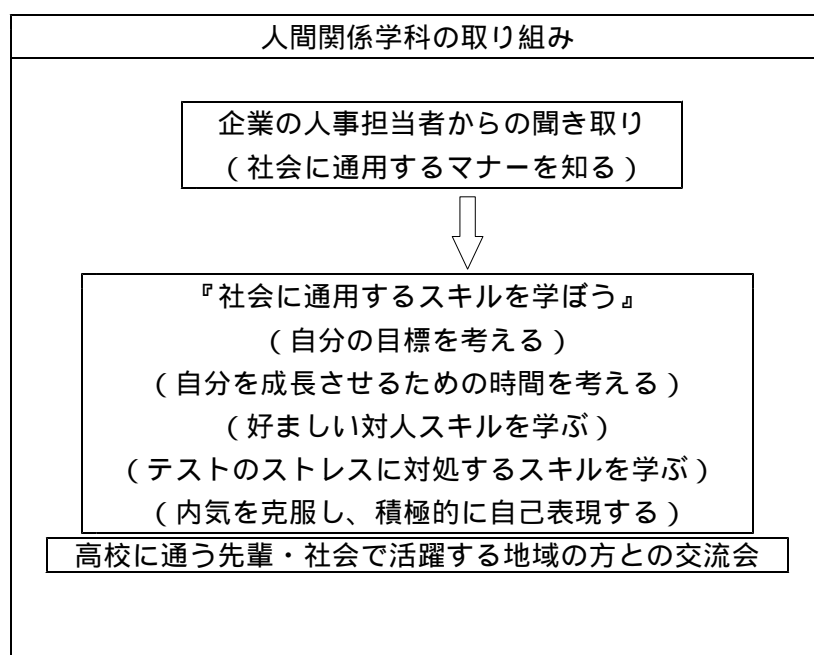
1. 本パッケージのねらい

中学校卒業後の進路を決定する時期にさしかかってきた3年生。新しい世界に旅立つ時が迫ってきている。一方、体験入学やオープンスクールなどで、中学校とは違う場所に出かける機会も増えてきている。「知っている場所」での人間関係から「知らない場所」での人間関係をつくる必要に迫られてもいる。

人間関係学科の本パッケージでは、新しい世界への旅立ちを前にした3年生に、自己の成長を高めるためのスキルアップと、社会で通用する人になるための社会に通用するスキルを学ぶことを目標にした『ステップアップ・マナー』に取り組み、自信をもって新しい環境に旅立っていける力を身につけることをねらいとする。

2. 『社会に通用するスキルを学ぼう』パッケージ全体を通しての目標（ターゲットスキルとねらい）

- * 自己管理能力の向上
- * 対人関係力を高める
 - ・適切な対人行動のための限界を知る
- * コミュニケーション力を高める
 - ・効果的で適切な言語的・非言語的コミュニケーションができる
 - ・積極的に自己表現する
 - ・内気を克服する
- * ストレスに対処する
 - ・自分が変えることのできない状況に対処する
- * 感情に対処する
 - ・フラストレーションや不安に対処する



3.『「境界」を知ろう』パッケージ全体の流れ

- 第1時・・・社会に通用するスキルを学ぼう 「企業の方からの聞き取り」
 第2時・・・社会に通用するスキルを学ぼう 「習慣」
 第3時・・・社会に通用するスキルを学ぼう 「自分の成長時間」(本時)
 第4時・・・社会に通用するスキルを学ぼう 「これが採用テストだ」
 第5時・・・社会に通用するスキルを学ぼう 「テストにだってスキルが必要」
 第6時・・・社会に通用するスキルを学ぼう 「ロールプレイで面接練習」

4.実施時期

3年2学期 11月

5.各時間の具体的展開例

第3時 社会に通用するスキルを学ぼう 「自分の成長時間」

【本時のターゲットスキル】

- ・自己管理能力の向上
- ・時間管理・調整能力の向上

【本時のねらい】

- 1) 自分の時間管理方法を認識する
- 2) 長期的な目標に対しての自分のスキルアップを考える

【エクササイズ】

アイスブレイキング：なし

メインエクササイズ：ロールプレイング

【本時の流れ】 資料)

	時間	活動の流れ(教員の教示・子どもの反応と動き)	留意点・教具等
インストラクション		前回のHRSでは、自分の目標や目的を知ることを学習した。そしてその目標や目的を達成するためには「正しい習慣」が大切だった。今日は、実際に自分の時間をコントロールすることねらいに行っていく。 「24時間テレビ」一人1人色んな生活をしているけれど1日の時間は全員同じ24時間。その24時間をどんな風に使っているだろう。 1日の使い方は人それぞれで違う。その時間の使い方はどんなパターンになっているのか。時間の使い方には実はパターンがある	前時の内容を思い出す
		●ロールプレイ「サラリーマン岩崎くん」 〔シチュエーション〕 岩崎くんは入社5年目のサラリーマン。 岩崎くん色々な用事がふりかかってくる	ロールプレイに登場させる子どもへのサポート

	時間	活動の流れ（教員の教示・子どもの反応と動き）	留意点・教具等
エクササイズ		岩崎くんは30歳。部署は営業部である。将来は海外勤務を希望しており、今日も夜は妻と一緒に1年間続けている英会話教室に行く予定がある。今日の5時までに提出の書類があるが、昨日はDVDを見過ぎてまだ出来ていない。（1週間前に言われていた）今日はもうすぐ契約の取れそうなおとくいさんの所に行きたいと思っている。そんな時、先輩から仕事の誘いが入る。後輩からは仕事終わりに、ご飯に連れて行ってと言われOKと解答。と、そこへ、電話が入ってきた。保険のセールスの電話である。女性の声がいつもとちがいついだらだら長電話していると、急に歯が痛くなってきた・・・ずいぶん前に銀歯がとれていたのを思い出す。歯医者に行かなくてはならないほどの痛さ！でも、5時までの書類もあるし、おとくいさんのところにも行かないと行けないし、妻との約束もあるし、先輩からの誘いもあるし・・・どうしたらいいんだ～ ●ロールプレイを見て、岩崎くんがしなくちゃならなかったことを書き出してみる。岩崎くんの行動を4つの法則に従って分けていく。 緊急性がある、重要なもの 緊急ではないけど、重要なもの 緊急だけれども、重要ではないもの 緊急でもなく、重要でもないもの ただし、「重要な物」の観点は人それぞれ。岩崎くんではなく、次は中学生で考えてみよう！ ●ロールプレイ「中学生Aくん」 〔シチュエーション〕 中学生のA君に様々な用事がふりかかる。A君は中学3年生。11月を迎え、来週から期末テストが始まる。A君はゲームが好きで昨日もだらだらとゲームをしてしまっていた。そのため今日の宿題の国語のマルカンと数学のプリントのうち、国語ができていない。家庭学習ノートはいつも通りぱっちりしてある。でも国語は5時間目なので、昼休み時間に終わらせようと思っている。今日は塾もないので、家で高校で野球部に入り活躍するための練習をしようと心に決めている。学校に行くと、友だちのBとCが今日の夕方、一緒に勉強しようと誘ってきた。「分かった！」と解答。朝のHRで担任の先生が急な時間割変更を伝えてきた。5時間目の国語が4時間目になったのだ。「大変や～」と思っていた時に、社会の先生がやってきて、社会ののやりなおしプリントができていないと激怒！昼休みに必ず持って行くと約束をする。放課後、高校で野球を頑張りたいと思っていたAにDが野球の練習に誘ってきた。行きたいのでOKを出す。 ●ロールプレイを見て、Aくんがしなくちゃならなかったこ	指令書 指令書 ワークシート

	時間	活動の流れ（教員の教示・子どもの反応と動き）	留意点・教具等								
エクササイズ		とを書き出してみる。A さんの行動を 4 つの法則に従って分けていく。 緊急性があって、重要なもの 緊急ではないけど、重要なもの 緊急だけれども、重要ではないもの 緊急でもなく、重要でもないもの ただし、「重要な物」の観点は人それぞれ。 数人の意見を聞く。 ●自分が昨日行った行動を書き出してみる。ワークシートのマトリックスに入れていくと自分の行動パターンが見えてくる。自分の円グラフを今度は自分の 4 つのマトリックスに書きこんで自分のパターンを探ろう。 <table border="1"><tr><td>が多いパターン・・・</td><td>子どもたちの言葉を</td></tr><tr><td>が多いパターン・・・</td><td>つかって</td></tr><tr><td>が多いパターン・・・</td><td>類型化する</td></tr><tr><td>が多いパターン・・・</td><td>例) 時間に追われている人</td></tr></table> ●自分はどのゾーンが多くて、どのタイプだっただろう。 のゾーンを増やしていくためには、普段のパターン化した時間の使い方を見直すことが大切。 ●前時では、結婚式でのスピーチを行った。その時、描いた自分のありたい姿に繋がることはこのマトリックスの中に入っていただろうか？	が多いパターン・・・	子どもたちの言葉を	が多いパターン・・・	つかって	が多いパターン・・・	類型化する	が多いパターン・・・	例) 時間に追われている人	
が多いパターン・・・	子どもたちの言葉を										
が多いパターン・・・	つかって										
が多いパターン・・・	類型化する										
が多いパターン・・・	例) 時間に追われている人										
シェアリング		感じたり、考えたことをふり返る ふりかえりシートを記入 全体で分かち合う 可能な範囲で感想を交流 自分のスキルアップのために今日のように、自分で自分の時間をコントロールして自分が一番大切にしていることを実現させられるようにしていこう									

〔参考文献〕

スティーブン・R・ゴビー「7つの習慣」キングベアー出版

教員用資料)

緊急

緊急でない

時間管理のマトリクス
（私たちの全ての活動を緊急度と重要度という二つの軸によって四つの領域に分けることができる）

重要

重要でない

「7つの習慣」
P215 より

（第一領域） ・ 締切のある仕事・クレーム処理 ・ せっぱつまった問題 ・ 病気や事故 ・ 危機や災害	（第二領域） ・ 人間関係づくり ・ 健康維持 ・ 準備や計画 ・ リーダーシップ ・ 真のレクリエーション・自己啓発
（第三領域） ・ 突然の来訪 ・ 多くの電話 ・ 多くの会議や報告書 ・ 雑事 ・ 無意味な接待や付き合い	（第四領域） ・ 暇つぶし ・ 単なる遊び ・ だらだら電話 ・ 多くのテレビ ・ 待ち時間 ・ 意味のない活動